

平成12年2月吉日

回覧

窯組四町内の

みなさまへ

窯クラブ建設委員長 加納 達雄
東 窯 町内会長 福岡 拓也
中 窯 町内会長 藤井 光政
西 窯第一町内会長 鬼島良太郎
西 窯第二町内会長 山口 茂

「窯クラブ」の建設について その概略の御報告

三寒四温のなかで いよいよ「春」の息吹を感じるようになりました。
みなさまには お健やかに暮らしのこととお慶び申し上げます。

クラブの建設については 様々な関心と期待を寄せて頂きながら 事情により 今日まで延引致し 恐縮しておりますが 正月を過ぎてから 関係の機関などの指導 協力を得て 今回ここに 以下のような 諸報告ができるようになりました。

1 建設予算案の大綱ができました。 別紙を参照して下さい。

建設委員会のメンバーが懸命に取り組だ一つはこれでした。 正月明けに早速取掛かったが 相手が「居ない」。 長引く不況は業者や商社が長期休業。 1月中旬漸く相手になってくれました。 歳末12月にご覧頂いた「新築設計図」をもとに 連日(夜)頑張ってくれました。

今後 細部の修正は勿論しなければなりません但取りあえずご賢察願わしく存じます。

2 建築施行業者が決定しました。

(仮称)窯集会所建設共同体として 窯組の業者が もろもろの利害の事情を克服して「共同体」の名のもとに団結して参加されることになりました。代表者は 丸山康夫さん(東窯)。建設委員の中から伊佐治和喜さん。 町内会役員の中から山口 茂さんにそれぞれ副代表になって頂きました。このお三人で仕事を推進して頂きます。窯組在住の建築関係者と交流・依頼等、考えた事業の実施です。 実は私共建設委員が願っていた「地域の業者」の参加が得られて こんな嬉しいことはありません。 勿論 問題は山積です。関係者の叡智と努力によって必ず見事な成果が挙がるように 皆様の暖かいご支援・お見守りを切望する次第です。

3 起工時・・・完成予定時の「目安」がたちました。

- ・ 2月末～3月初旬に、地鎮祭。
- ・ 3月中旬、土工事関係の仕事から着工。
- ・ 竣工予定。 8月下旬～9月中旬。

○ 顧みれば クラブ建設の槌音が聞こえるようになるまでに、随分と長い年月と(平成4年から)、沢山のクラブ建設委員各位(延べ30名を越す)の絶えることのない一途で真剣な研究・討議があったことを思わずにはられません。 掛替えのない多くの諸先輩のご努力が今日大きく開花しようとしていることを感ずる時 改めて諸先輩の上に思いを致さなければと思う。今後も 大いなる道標を示されん事を切望して止みません。 おわりに 敢えて 一文を寄せて 建設委員会の「銘」とする所以です。

新窯集会所建設関係予算(案)

平成12年1月31日

(鉄骨平屋瓦葺き) 約80坪

建設委員会

* 樹木伐採、地鎮祭、起工式等、関係雑費	¥700,000.-
* 設計管理費及び申請書関係費用	¥1,500,000.-
* 土地造成、基礎、建物、電気、上下水道、厨房機器、 トイレ関係、空調関係、側溝、舗装、周辺整備等	¥36,200,000.-
* 備品関係(机、椅子、間仕切り、書庫、 (スリッパ、厨房備品、消火備品、その他)	¥2,500,000.-
* 倉庫関係費用(四町内用)基礎、掘付費含む (土岐市に防災倉庫を兼ねた補助金申請手続きする予定)	¥1,000,000.-
* 文書。通信、印刷、その他 会議費関係、 竣工式関係費用、雑費 (全戸配布記念品代含む)	¥1,000,000.-
* 旧窯クラブ解体、整地費用	¥700,000.-
* 予備費(建設関係追加工事、備品、その他)	¥1,000,000.-
* 新窯クラブ運営資金(維持管理費、その他)	¥1,000,000.-

計

¥45,600,000.-

消費税5% ¥2,280,000.-

総計 ¥47,880,000.-

(資金関係)	
四町内積立金	¥13,200,000.- (平成12年3月末)
市補助金	¥6,500,000.-
区助成金	¥20,300,000.-
合計	¥40,000,000.-

(不足金の約 ¥7,880,000.-を金融機関から借りる
場合、5年の60回払いで返済予定)

従って、不足資金の調達方法は、数年前よりご協力をお願いしています
窯クラブ建設資金積立金(月に¥300.-)を今後も引き続き5年間程お願いし
その資金で返済したいと考えています。(町内により積立年数の違いがありますので調整が必要です)
尚、上記予算案は今後の建築関係の状況や種々な要因で多少の変動が
予想されますのでご了解くださる様、お願い申し上げます。